

夏休みに偏差値を5上げてしまおう

受験生は、一日中勉強の夏休みを

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：来春、大学や高校を受験する「受験生」は、この夏休み何を目標に勉強したらよいのですか。

A：(林。以下略)偏差値5アップを目標にしたらよいと、私は確信します。

Q：そもそもなぜ「偏差値」を上げなければならないのですか。私は「偏差値」という言葉があまり好きではないのですが…。

A：「偏差値」は高ければ高いほど素晴らしいことだと私は考えます。偏差値が40の場合には、受験できる学校は極めて限られます。50になれば、それより少し広がります。偏差値60の場合は、それほど難しい学校でなければ数多くの中から受験校を選ぶことができます。偏差値が70近くの場合は、高校入試であっても大学入試であっても、ほとんどすべての学校を受験することができます。ほとんどすべての学校の中から受験する学校を選ぶことができるということです。つまり、「偏差値」が高いということは、受験できる学校の選択肢が広がることを意味します。人生において選択肢は少ないよりは多い方がよい、さらに言えば幸せであると私は考えます。

Q：進学する学校を多くの中から選択できることは幸せであるということですが、適当に勉強してその結果入れる学校に入ればよいのではないのでしょうか。あまり難しいことを考えたくはないのですが…。

A：中学3年生・高校3年生の皆さんに提案したいのは、上の学校で学ぶチャンスが与えられているのであれば、一度は真剣にそこで学ぶ意味を考えてみてはどうかということです。何のために進学するのか、自分なりの意味・理由を真剣に考えることを提案します。さらに言えば、どのような人生を送りたいのか、何のために自分は生きるのかを考えた上で、進学先を考え、その上で受験勉強に打ち込むことを提案します。

夏の暑いときに難しいことを考えるのは面倒だと思ってしまう方もいらっしゃるでしょうが、一度は真剣に自分自身と向き合ってみることも大切です。

ところで、ご質問に対する答えがまだでしたね。自分自身と真剣に向き合って進路を考える場合に、いろいろな選択肢の中から、自分に最も適した学校を選ぶことができるのは素晴らしいことであり、幸せなことではないかと私は考えます。幸せの青い鳥は、待っているだけでは来てくれません。こちらから出かけて行かなければ、目にすることも手にすることもできないのです。

人生の大切な節目(ふしめ)の高校進学・大学進学での選択肢を少しでも増やすために、偏差値をとりあえず5アップさせる、そのために夏休みは一日中勉強するというように考えることも大切ではないでしょうか。

Q：なぜ高校や大学に進学するのかを考えると、参考になることはありますか。

A：「新聞を読んで考える」ことです。受験生こそ夏休みには毎日一時間以上腰を落ち着けてじっくり新聞を読み込むことを、私はお勧めします。毎日じっくり一時間以上かけて新聞を読み込めば、地域のこと、日本のこと、世界のことがいろいろな角度から少しずつ理解できます。スポーツ、健康、読書、経済、福祉、教育、文化、歴史、科学、企業経営、その他様々な内容が驚くほど面白く毎日紹介されているのが「新聞」だからです。

この夏、新聞を毎日一時間以上じっくり読み込むことで、人生や進路について考えるきっかけがつかめるものと私は確信いたします。「新聞を読んで考える 2005年の夏」にしてはどうでしょう。では、頑張ってください。

- 2005年7月19日記 -

開倫塾では、授業に使用していない教室を自習室として無料で開放しています。ただし、使用に際しては、使用許可書が必要です。

座席は指定です。自習室内では、おしゃべり、飲食、ケータイ、ゲーム、マンガなど勉強以外のことは一切禁止です。ルールを守れない人は、早刻退室となり使用許可書は取り消されます。

家庭や自習室では、一度「うん、なるほど」と「理解」した内容を身に付ける、つまり間違えた問題をもう一度やり直す「定着」のための勉強を一心不乱になさることをお勧めします。

偏差値5アップは、毎日の講習終了後の自習をどのくらい確実にやるかでも決まります。